

ATHENA LIBRARY OF LIFE WRITING

LW
002
003
2011

【ライフ・ライティング】シリーズ Part 2 & 3

アメリカ児童文学作家 I・II



別冊解説：三浦玲一（一橋大学教授）

Part 2: Volumes 9-12

定価(本体 75,000円+税)

ISBN 978-4-86340-085-6 • 全4巻(分売可)+別冊解説

Part 3: Volumes 13-18

定価(本体 95,000円+税)

ISBN 978-4-86340-090-0 • 全6巻(分売可)+別冊解説

Athena Press

児童文学・Life Writing・感傷小説

三浦 玲一 ● 橋大学教授

Life Writing シリーズのパート2と3は、アメリカの女性作家のシリーズである。19世紀の広義の「感傷小説」の書き手(パート2)、それから、19世紀末から20世紀初頭の広義の児童文学の書き手(パート3)による、自伝、伝記、書簡集などからなる。目録を見渡して気づくのは、シリーズにすることで見えてくるものである。

もちろん、各々独立した資料として、つまり、各作家についての基礎資料としても重要である。The Wide, Wide World の作家の伝記と書簡集があり、『小公子』のモデルになったとも言われる息子による母の伝記がある。2006年に新たな伝記が刊行され、わざ再発見された、Elizabeth Prentiss の書簡集がある。

だが、各巻を互いに関連させる豊かな縦糸と横糸も知ってほしい。このシリーズの読み方は一通りではない。たとえば、このシリーズを歴史資料として読むこともできる。Kate Douglas Wiggin は、貧民の子弟のための幼稚園をサン・フランシスコに最初に開設した人物だし、Gene Stratton-Porter は、当時、著名な環境保護活動家であったとともに、自身の名を冠した映画会社を設立した人物である。これは、もちろん、当時の女性としては異例のことであった。

この資料をきっかけとして、パート3の Burnett 以外の、今日ではあまり顧みられることのない児童文学を再読することも実り多いだろう。Wiggin の Rebecca of Sunnybrook Farm も、Stratton-Porter の A Girl of the Limberlost も、Johnston の "Little Colonel" シリーズも、Rice の Mrs. Wiggs of the Cabbage Patch も、同時代においてはきわめてポピュラーなテキストで、版を重ね、翻訳され、映画化されたり、テレビ化されたり、ラジオ・ドラマ化されたりしている。

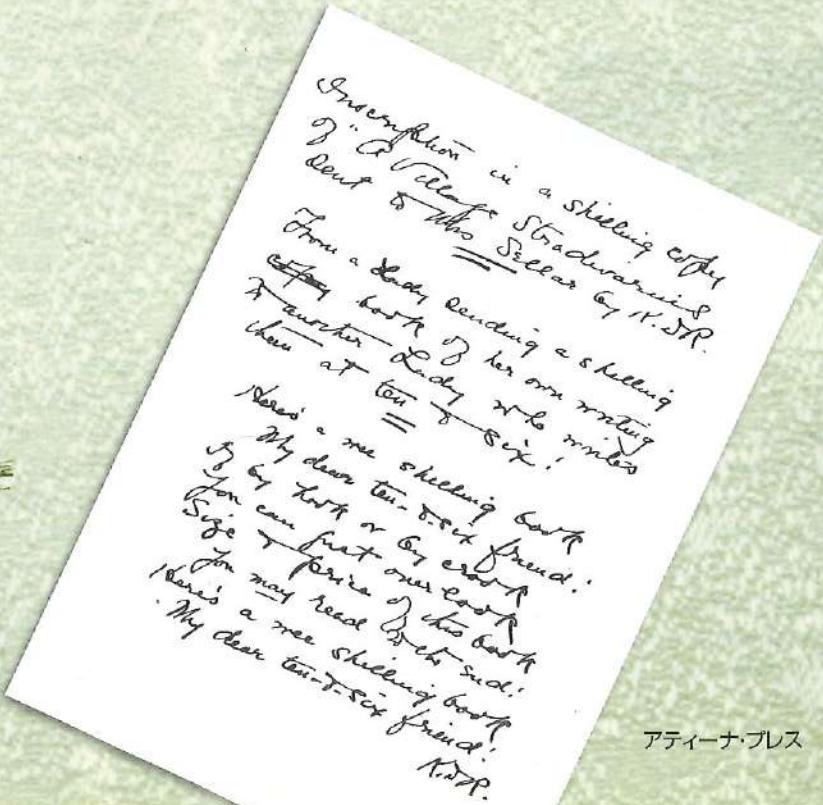
だが、そういったことをすべておいておいたとしても、19世紀から

20世紀初頭の女性による life writing を読むことは、種々の新たな驚きをわれわれに与えてくれるはずだ。そこで語られる世界観は、人種の問題、奴隸制や移民の問題、ジェンダーの定義、家事労働の意味や美德の定義について、それから、階級と貧富の差と慈善行為の意義について、次から次へと新鮮でまた歴史的な洞察を提示している。

1990年代以降、多文化主義、ポストコロニアリズム、ディアスボラ研究、トラウマ研究、フェミニズム等の多様な文脈において、life writing は大きな脚光を浴びるようになった。児童文学研究においては、多文化主義教育の普及とともに、エスニックな「私」とアメリカ人としての主体の構築の二重性を分析する場として、とりわけエスニック・マイナリティの life writing が重視されることになる。そして、life writing への関心は、最終的に、子供が大人になるプロセスを注視し、アイデンティティ形成についての物語を紡ぐ場としての児童文学全般に、新たな光を投げかける。

近年の「感傷小説」の再評価の流れは、それら作品が「アメリカ」性をどのように扱い、「アメリカ」というネーションの成立にどのような役割を果たしてきたかを、分析の中心的な対象としてきた。このことを踏まえながら、かつての児童文学の作者たちが、子供から大人へのイニシエーションの過程を、どのような種類の「アメリカの物語」として語っていたかを理解することは、その時代とその時代の児童文学を学ぶために有意義なばかりでなく、おそらく、現在のわれわれがアメリカとアメリカ的なものをどのように理解しようとしているかをもう一度理解しなおすためにも、決定的に重要なだろう。

有意義なコレクションである。



Part 2: Vols 9-12

アメリカ児童文学作家 I

ISBN 978-4-86340-085-6 • A5判 • c. 1900 pp.

定価(本体75,000円+税)

19世紀前半の女性作家の伝記をセレクト。キリスト教的影響を色濃く反映した、家庭や道徳を重んじる内容の作品を書いて多くのベストセラーを生んだ、アメリカ文学史初期の重要な人たちです。子ども向けばかりでなくむしろ一般向け作品が多い人たちです。

Volume 9: Mary E. Dewey, ed. *Life and Letters of Catharine M. Sedgwick* (1871)

ISBN 978-4-86340-086-3 • 442 pp., 3 pl. • 18,000 円 + 税

Catherine Maria Sedgwick
(1789-1867)

マサチューセッツ州ストックブリッジ生まれ、父は有力な政治家。メルヴィル、ホーリー、W. E. チャニング、W. アーヴィングらと交流のある家庭だった。生涯この地で暮らす。

处女作 *A New-England Tale* (1822) はカルヴァン主義を鋭く風刺、リベラルな教義を主張する内容。保守的な読者には不評であったが、ニュー・イングランドの情景と風俗を良く表現して小説家として認められるきっかけとなった。これに続く二つの作品 *Redwood* (1824)、*Hope Leslie* (1827) が作家としての評価を確かなものにした代表作。同世代のフェニモア・クーパーとともに、アメリカ的な人物や情景を描いた先駆けであり、いくつかの作品が家庭小説の初期形態と目されている。1840年代末にかけては様々な子ども向けの作品がある。

彼女の小説は常に人気を博し、国際的に認知されるところとなつたはじめでの「アメリカ文学作家」のひとりに数えられている。詩人ウィリアム・カレン・ブライアントと女優ファニー・ケンブルは生涯の友であった。



Volume 10: George L. Prentiss *The Life and Letters of Elizabeth Payson Prentiss: Author of Stepping Heavenward* (1882)

ISBN 978-4-86340-087-0 • 590 pp., 6 pl. • 22,000 円 + 税

Elizabeth Payson Prentiss
(1818-78)

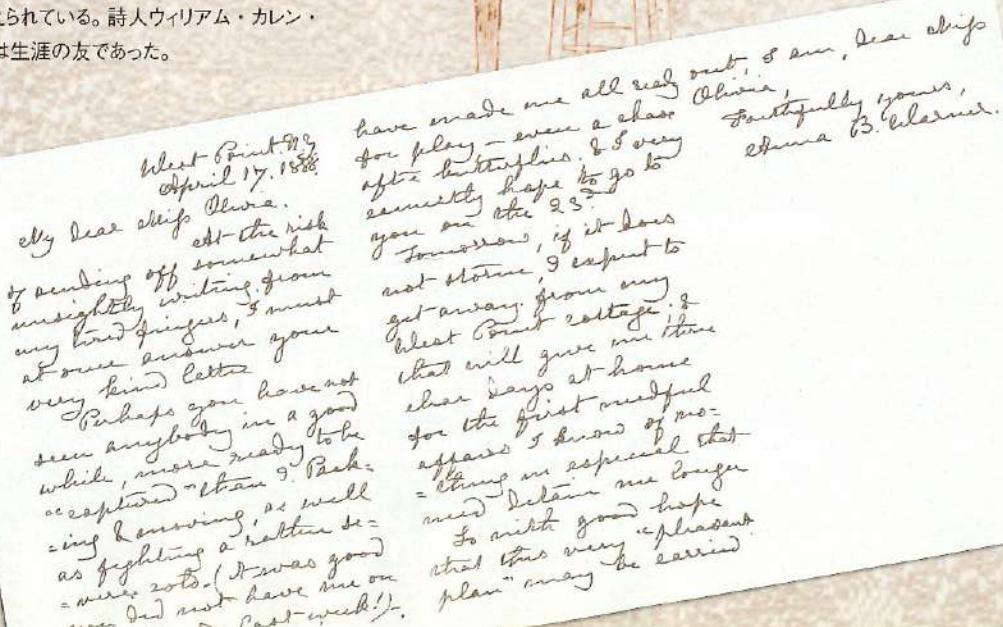
メイン州ポートランド生まれ。父はプロテスタントの会衆派教師で9歳のときに死去。数年間、バージニア州リッチモンドの女学校で教鞭をとった後ポートランドに戻り1845年にやはり会衆派教師の George Lewis Prentiss と結婚。1851年にNYCに移住、のちにはバーモント州に夏の別荘を所有する。



基本的に教師の妻として家事を切り盛りすることのほうが大事だと考えていたが、近郊の友人ワーナー姉妹を訪ねるうちに文学への願望が高まり、道徳的な短編を続けて寄稿した。彼女の子ども向けの本はだんだん人気を博すようになり、特に「リトル・スージー」シリーズには熱心な読者が付いた。ヒロインの高潔な人物への成長を描き、読者にキリスト教的な道徳観をもたらす内容であった。また *Stepping Heavenward* (1869) という、夫婦間の関係を探求する作品でもよく知られ、アメリカ国内だけで10万部以上を売り上げている。

彼女の作品には、19世紀の福音派の生き方がそのままに書かれており、その内面を知る上での重要性が評価されている。

本書は、日記や沢山の手紙からの引用が多く含まれ、今でもエリザベスについての主要な情報源。



Volume 11: Anna B. Warner **Susan Warner** ("Elizabeth Wetherell") (1909)

ISBN 978-4-86340-088-7 • 520 pp., 16 pl. • 20,000 円 + 税

Volume 12: Olivia Egleston Phelps Stokes Letters and Memories of Susan and Anna Bartlett Warner (1925)

ISBN 978-4-86340-089-4 • 240 pp., 20 pl. • 15,000 円 + 税

Susan Bogert Warner (1819-85)

Anna Bartlett Warner (1827-1915)

ともにニューヨーク市生まれ、1836 年に父が購入した、ハドソン川の中に浮かぶ Constitution Island で生涯を過ごし、その住まいは今もワーナー・ハウスとして保全されている。母は若いうちに死去、1837 年の金融危機で父の資産も傾き、二人は家事全般を担わざるを得なくなるとともに、お金で稼ぐために作家となった。

最初期の小説、スーザンの *The Wide, Wide World* (1850) と *Queechy* (1852)、アナの *Dollars and Cents* (1852) が最も有名。売り上げや評判において、19世紀のアメリカで *The Wide, Wide World* を凌いだのはストウ夫人の「アンクルトムの小屋」だけだったと言われている。いずれも子どもを含めた女性に特に反響があり、ヘンリー・ジェームズやエリザベス・B・ブラウニングら有名作家から、とりわけ田舎の生活や風俗の写実的な表現に対して好意的に評価された。

以後姉妹とも、時には共著で、聖書物語や日曜学校向けの教訓物語のシリーズ、その他子ども向けのお話など、数多くの本を書き続けた。陸軍士官学校で聖書の講義を長く担当していたことでも知られる。



Part 3: Vols 13-18

アメリカ児童文学作家 II

ISBN 978-4-86340-090-0 • A5判 • c. 2350 pp.

定価(本体95,000円+税)

19世紀末から20世紀初期にかけて活躍した5人のアメリカ女性作家の伝記をセレクト。より現代的で生き生きとした児童小説を書き、児童文学におけるアメリカ独特のスタイルを確立する上で大きな影響をもたらした、この時代の児童文学作家の中でもとりわけ重要な人々です。



Volume 13: Kate Douglas Wiggin **My Garden of Memory: An Autobiography** (1923)

ISBN 978-4-86340-091-7 • 492 pp., 25 pl. • 19,000 円 + 税

Volume 14: Nora Archibald Smith **Kate Douglas Wiggin as Her Sister Knew Her** (1925)

ISBN 978-4-86340-092-4 • 394 pp., 13 pl. • 16,000 円 + 税

Kate Douglas Wiggin (1856-1923)

フィラデルフィア生まれ、メイン州で育つ。17歳のときにカリフォルニアに移住、そこでフレーベルの教育理論に関心を持つ。1878年、サンフランシスコのスマラム街にある Silver Street Kindergarten の職員となり、二年後、妹のノラ・スミスとともに California Kindergarten Training School を設立。この教育プロジェクトへの資金供給のため子どもの物語を書き始める。*The Story of Patsy* (1883)、*The Birds' Christmas Carol* (1887) は子どもたちのお気に入りとなった。姉妹での各種の共著もあり、生涯を通じて幼稚園設立運動に関わり続けた。



1881年に結婚していたがその夫と89年に死別、経済的に自分の著作に頼らざるを得なくなる。著作のテーマや舞台は様々だったが、それでもメイン州が多く登場し、貧しい子どものお話を多かった。*Rebecca of Sunnybrook Farm* (1903) がよく知られた作品。

1895年に輸入業者と再婚、ヨーロッパ、メイン、NYを行き来する暮らしの中、マーク・トウェイン、キpling、エレン・テリーなど多くの著名人と交流した。イギリス滞在中に生涯を閉じる。

Volume 15: Vivian Burnett **The Romantick Lady (Frances Hodgson Burnett): The Life Story of an Imagination** (1927)

ISBN 978-4-86340-093-1 • 440 pp., 24 pl. • 18,000 円 + 税

Frances Eliza Hodgson Burnett (1849-1924)

イギリス・マン彻スター生まれ。3歳で父を亡くし、1865年に家族とともにアメリカのテネシー州ノックスビルに移住、1873年に結婚。



1868年、19歳のときにお金を得るために *Godey's Lady's Book* に物語を書いたのが作家生活の始まりで、初期の作品はほとんどが大人向けの通俗小説。やがて文芸誌に掲載される作品も出て、1870年代後半になるとイギリス労働者階級の生活を扱った小説を数多く出版、正確なランカシャー方言を用いるなど、その写実的な描写が称賛される。しかしキャリアに成功をもたらしたのはむしろ子ども向けの作品だった。最初のものはセント・ニコラス誌連載後に単行本化された、息子ヴィヴィアンをモデルにした主人公の「小公子」(1886)で、ベストセラーに。ほか、*Sara Crewe*(1888)と、これを加筆再版した「小公主」(1905)、「秘密の花園」(1911)、「消えた王子」(1915)など枚挙にいとまなく、いくつも舞台化、映画化されている。

1905年、合衆国市民権を獲得、1909年にロング・アイランドに移住して余生を過ごす。本書は息子ヴィヴィアンによるもの。

Volume 16: Jeanette Porter Meehan **The Lady of the Limberlost: The Life and Letters of Gene Stratton-Porter** (1928)

ISBN 978-4-86340-094-8 • 384 pp., 6 pl. • 17,000 円 + 税

Gene Stratton-Porter (1863-1924)

インディアナ州ウォバッシュ郡の農園に生まれる。12人きょうだいの末っ子。幼いころから自然に興味を持つ。1886年に結婚、そのち居を構えたり

ンバーロスト湿地で、自然の生態、特に鳥や蛾についての研究に没頭した。また写真も独学で学び、のちには *National Geographic* の写真顧問になっている。

しかしながら、名が売れたのは子ども向けに書いた物語によってである。*The Song of the Cardinal* (1903)、「そばかすの少年」(1904)、「リンバロストの乙女」(1909)がベストセラーとなり、鳥や自然についての知識と、ロマン、道徳観を絡め合わせた、独自の作風を確立、他の作品でも人気を得るが、田舎の生活を過度に理想化している点はしばしば批判された。また、ネイチャー・ライティング、特に鳥についての作品で評価が高く、写真や絵による詳しい解説を載せて自然をよく理解した内容を伴っていた。

1920年代初めにロサンゼルス近郊に移住、映像化された彼女の初期作品に満足できず、自分の映画会社を設立した。

娘の Jeanette Porter Meehan によるこの伝記は、今でも重要な一次資料として扱われている。



Volume 17: Annie Fellows Johnston **The Land of the Little Colonel: Reminiscence and Autobiography** (1929)

ISBN 978-4-86340-095-5 • 152 pp., 16 pl. • 10,000 円 + 税

Annie Fellows Johnston (1863-1931)

インディアナ州エバンズビル生まれ。2歳で父を亡くし、以後親類と共に過ごす。1888年、3人の子連れの従兄と結婚、しかし92年にその夫もわずかな財産を残して他界。このため、真剣に作家となることを決意する。

ケンタッキー州ルイビル近くの、南北戦争前の雰囲気を残す魅力的な村として知られるピーウィーバレーを訪れたとき、南部軍の大佐だった老人と気難しい孫娘に出会う。その孫娘は、1895年に最初の作品が出た大人気シリーズ「Little Colonel」の主人公モデルとなった。シリーズは多くの版を重ね、各國語に翻訳されている。

他にもミリオンセラーとなった児童書が40作以上あるが、1931年に亡くなって以後は、あまりに理想主義的で情緒的な感じが古めかしい印象を持たれるようになった。

日々若い読者から、自身についての質問が書かれた手紙を多く受け取っており、晩年に書かれたこの回想録は「私の文通者たちの好奇心に応える」ものとされている。

Volume 18: Alice Hegan Rice **The Inky Way** (1940)

ISBN 978-4-86340-096-2 • 292 pp., 12 pl. • 15,000 円 + 税

Alice Caldwell Hegan Rice (1870-1942)

裕福な家庭に生まれ、ケンタッキー州ルイビルで育つ。私立学校で学び、早い時期から絵画と作文を始める。このときすでに地元で出版されたいくつかの短編がある。16歳でスラムにある男の子向けの日曜教会学校の手伝いを始め、この時から困窮者の暮らしに関心を持つようになった。学校卒業後も慈善活動を続け、1910年に「Cabbage Patch Settlement House」設立に加わる。

1901年の、見知った貧しい女性から着想を得て書いた最初の小説 *Mrs. Wiggs of the Cabbage Patch* が、ローズベルト大統領と改革主義者たちの関心を引きつけた。1940年までに50万部以上を売り上げる成功を見せ、翻訳が出されたり人気の舞台や映画になったりした。

他の作品もおよそ同じテーマを追求したものであったが、成功した初回作と決して同じではなかった。前出のアニー・ジョンストンをはじめこの世代の作品がおよそそうだったように、社会問題についての扱い方が単純すぎると考えられ始めて、時とともに作品は読者の関心を引かなくなつたが、子どもの間ではわかりやすい作風とユーモアで人気であり続けた。



ATHENA LIBRARY OF LIFE WRITING

研究の新たな視点を切り開く、「ライフ・ライティング」のテーマ別集成。自伝や評伝、回想録、日記類、手紙、あるいは旅の記録など、文字ばかりでなく口述されたものもその範囲とする「ライフ・ライティング」は有益な研究対象と考えられています。各巻の分売もいたします。

Part 1: Volumes 1–8: 19世紀末イギリス舞台女優

全8巻+別冊解説：河内恵子（慶應義塾大学教授）

ISBN 978-4-86340-050-4 • c. 3000 pp.

定価 本体133,000円+税 ▶2010年11月

Volume 1: Theodore Martin Helena Faucit (Lady Martin) (1900)

ISBN 978-4-86340-051-1 • 18,000円+税

Volume 2: Ellen Terry The Story of My Life (1908)

ISBN 978-4-86340-052-8 • 21,000円+税

Volume 3: Sarah Bernhardt My Double Life: Memoirs of Sarah Bernhardt (1907)

ISBN 978-4-86340-053-5 • 20,000円+税

Volume 4: Mary Anderson A Few Memories (1896)

ISBN 978-4-86340-054-2 • 15,000円+税

Volume 5: Lillie Langtry The Days I Knew (1925)

ISBN 978-4-86340-055-9 • 15,000円+税

Volume 6: Arthur Symons Eleonora Duse (1926)

ISBN 978-4-86340-056-6 • 12,000円+税

Volume 7: Elizabeth Robins Both Sides of the Curtain (1940)

ISBN 978-4-86340-057-3 • 16,000円+税

Volume 8: Elizabeth Robins Theatre and Friendship: Some Henry James Letters (1932)

ISBN 978-4-86340-058-0 • 16,000円+税

Part 2: Volumes 9–12: アメリカ児童文学作家 I

全4巻+別冊解説：三浦玲一（一橋大学教授）

ISBN 978-4-86340-085-6 • c. 1900 pp.

定価 本体75,000円+税 ▶2011年11月

Volume 9: Mary E. Dewey, ed. Life and Letters of Catharine M. Sedgwick (1871)

ISBN 978-4-86340-086-3 • 18,000円+税

Volume 10: George L. Prentiss The Life and Letters of Elizabeth Prentiss: Author of Stepping Heavenward (1882)

ISBN 978-4-86340-087-0 • 22,000円+税

Volume 11: Anna B. Warner Susan Warner ("Elizabeth Wetherell") (1909)

ISBN 978-4-86340-088-7 • 20,000円+税

Volume 12: Olivia Egleston Phelps Stokes Letters and Memories of Susan and Anna Bartlett Warner (1925)

ISBN 978-4-86340-089-4 • 15,000円+税

Part 3: Volumes 13–18: アメリカ児童文学作家 II

全6巻+別冊解説：三浦玲一（一橋大学教授）

ISBN 978-4-86340-090-0 • c. 2350 pp.

定価 本体95,000円+税 ▶2011年11月

Volume 13: Kate Douglas Wiggin My Garden of Memory: An Autobiography (1923)

ISBN 978-4-86340-091-7 • 19,000円+税

Volume 14: Nora Archibald Smith Kate Douglas Wiggin as Her Sister Knew Her (1925)

ISBN 978-4-86340-092-4 • 16,000円+税

Volume 15: Vivian Burnett The Romantick Lady (Frances Hodgson Burnett): The Life Story of an Imagination (1927)

ISBN 978-4-86340-093-1 • 18,000円+税

Volume 16: Jeanette Porter Meehan The Lady of the Limberlost: The Life and Letters of Gene Stratton-Porter (1928)

ISBN 978-4-86340-094-8 • 17,000円+税

Volume 17: Annie Fellows Johnston The Land of the Little Colonel: Reminiscence and Autobiography (1929)

ISBN 978-4-86340-095-5 • 10,000円+税

Volume 18: Alice Hegan Rice The Inky Way (1940)

ISBN 978-4-86340-096-2 • 15,000円+税

Part 4: Volumes 19–23: イギリスの芸術家 I

全5巻+別冊解説：松村昌家（大手前大学名誉教授）

ISBN 978-4-86340-097-9 • c. 1850 pp.

定価 本体84,000円+税 ▶2011年11月

Volumes 19–21: William Powell Frith My Autobiography and Reminiscences (1887; 1888 ed.)

ISBN 978-4-86340-098-6 • 3 vols • 51,000円+税

Volumes 22–23: William Powell Frith John Leech: His Life and Work (1891)

ISBN 978-4-86340-099-3 • 2 vols • 33,000円+税



【発行】

Athena Press
株式会社 アティーナ・プレス



〒112-0011 東京都文京区千石4-33-18

Tel: 03(3946)2117 Fax: 03(5977)8026

E-mail : eigyo@athena-press.co.jp

<http://www.athena-press.co.jp>

【取扱書店】